

平成 25 年度 新潟農業・バイオ専門学校学校関係者評価委員会 実施報告

新潟農業・バイオ専門学校 教務部

日時 平成 25 年 11 月 21 日 (木) 13:30-14:30

場所 新潟農業・バイオ専門学校 会議室

学校関係者評価委員会 出席者

出席者

森岡 三男 弁天橋自治会 会長 (近隣住民)
後藤 孝之 株式会社 日本フードリンク 代表取締役社長 (関連企業)
渡辺 弘友 新潟県立植物園 副参事 (関連団体)
泉 さとみ 在校生保護者
業務都合により欠席
米野 輝太 新潟ビール醸造株式会社 (卒業生)
永井 遥 J A 新津さつき (卒業生)

新潟農業・バイオ専門学校 (参加者)

阿部 貴美 副校長/教務部長
秋山 正之 就職部長
多賀 祥治 事務局長

■委員会内容

- ① 平成 25 年度教務・学校運営実績報告
- ② 平成 24 年度実施の保護者アンケートならびに事前アンケートの記載内容に関する報告
- ③ 報告を受けての意見交換 (平成 24 年度外部評価の実施)

■評価委員会委員からの意見

・学校運営：開校 3 年目にしてようやく運営システムの確立がなされてきている。特に農業経営科の実習の運営が複雑になっているが、しっかりとなされてきている。

・教育活動：食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した確立されている。

・学生支援：学生の進路・就職支援は求人情報の不足が課題点として挙げられる。また、より密度の濃い保護者との連携、保護者への情報提供を希望したい。

→この要望に関して、当校からは保護者への情報提供は回数増加 (4 回→6 回) と内容の充実を図っていくと回答した。

・教育環境：教室、実習設備、実習場といった教育環境の整備は急務である。特にバイオテクノロジー科の学生数増加に即した対応が十分になされていない。

この要望、指摘に対して、平成 26 年度の入学者数の状況を鑑みて近隣の空きスペースの借用を検討進めている。

・社会貢献・地域貢献：新潟市、新潟県、地域の NPO 法人などとの連携が図られている。A B i o 祭の実施など、近隣住民との交流を積極的に努めている点については好感が持てる。これから、拡大が期待される分野である。しっかりと教育をすることで、新潟の地域活性にもプラスになると考える。

以上